

本書には下記のような誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

箇所	誤	正	1刷	2刷
p. 80 13行目	σ^2	σ^2	○	
p. 86 最終行	新ダイエットプログラムは、旧ダイエットプログラムの効果の差は	新ダイエットプログラムと旧ダイエットプログラムの効果の差は	○	○
p. 88 20～21 行目	体重変化の差はない。	体重変化に差がある。	○	○
p. 106 側注 5行目	ピアソンの積率相関係	ピアソンの積率相関係数	○	○
p. 119 赤枠	$\chi^2 = \frac{1}{220} \{ (35 - 43.18)^2 + (65 - 56.82)^2 + (60 - 51.82)^2 + (60 - 68.18)^2 \}$ $= 5.002$	$\chi^2 = \sum \sum \frac{(O_{ij} - E_{ij})^2}{E_{ij}}$ $= \left\{ \frac{(35 - 43.18)^2}{43.18} + \frac{(65 - 56.82)^2}{56.82} + \frac{(60 - 51.82)^2}{51.82} + \frac{(60 - 68.18)^2}{68.18} \right\}$ $= 5.00$	○	○
p. 141 図3	<p>完全失業率・・・労働力人口に占める完全失業者の割合 (%)</p> <p>総務省統計局 労働力調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・従業者：調査週間中において、収入を伴う仕事を少しでも（1時間以上）した者 ・休業者：仕事を持っていないが調査週間中に病気や休暇などのため仕事をしなかった者のうち休業の要件を満たす者 ・完全失業者：①仕事がなく調査週間中に少しも仕事をしなかった、②仕事があればすぐ就くことができる、③調査週間中に、求職活動をしていた者 ・非労働力人口：従業者、休業者、完全失業者のいずれにも属さない者 <p>総務省統計局「労働力調査の解説」第5版改訂版より</p>	○	○